

Morita
Mamoru
Report
vol. 11
2023. 7



京都と子どもたちの明るい未来を守る!!

京都市会 新任期 始まる!!

4月9日投開票
京都市会議員選挙

当選
自民党公認 森田守
3期目当選を果たす

さる4月9日投開票の京都市会議員選挙（右京区選挙区）において、私は自由民主党公認候補として、4824票の得票をいただき、3期目の当選を果たすことができました。投票率は、40.72%と前回よりも約2ポイント上昇したものの、依然として低い状態が続いており、政治への関心を高めることが引き続き大きな課題です。

今回の選挙では、京都市の財政健全化が大きな争点となりました。令和5年度予算において、収支均衡の予算を達成し、財政難克服への道筋を示すことができたにも関わらず、「京都市は財政破綻するのではないか」という、市民の不安や不満を払拭するまでには至らず、非常に厳しい選挙戦となりました。

しかしながら、自民党は19議席を獲得し（改選前20議席）、引き続き京都市会第一党の座を守ることができました。二元代表制の一翼を担う自民党の議員として、右京区はもとより、京都市の発展のために更なる努力をしてまいります。

選挙結果は次のとおり

京都市会議員選挙 右京区 定員9

胡内大輔	維新	現	8741
江村理沙	京都	現	8566
湯浅光彦	公明	現	7265
田中崇則	自民	現	6020
井上与裕	自民	現	5014
森田守	自民	現	4824
菊池一秀	無	新	4307
山田耕司	共産	現	4238
江本佳世子	共産	新	4070
西村善美	共産	元	3921
坂巻譲理	立民	新	3452
安持成美	れいわ	新	2962



5月補正予算

対策
中小企業等物価高騰
対策支援金など

ロシアによるウクライナ侵攻や円安により、長引く物価高騰への支援を実施するため、5月市会では、住民税非課税世帯や中小企業・小規模事業者を対象とした、112億7300万円の補正予算案を可決しました。主な事業は次のとおり。

○中小企業等物価高騰対策支援金
前回の中小企業等物価高騰対策支援金の交付を受けた事業者に追加支援金を交付（法人3万円・個人事業者2万円）。合わせて、前回支援金の基準日以降に開業された事業者等についても支援を行う。

○京都市くらし応援給付金
物価高騰の負担感が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯）に対して、1世帯あたり3万円の現金を給付。

○子育て世帯生活支援給付金
物価高騰に直面する低所得の子育て世帯を対象として、児童1人あたり5万円を給付。

2月市会 市長総括質疑

提言 市バスへの大型手荷物持ち込みについて

新型コロナウイルスが5類に位置付けられ、京都市観光が急速に回復しています。昨年の京都市における観光消費額は1兆179億円、経済波及効果額は1兆1040億円と、京都経済に大きなプラスとなる一方で、コロナ禍前のようなオーバートーリズムの再来が心配されており「市民生活と調和した持続可能な観光」を実現することが重要となっています。そのような中において、大きな課題である「市バスへの大型手荷物持ち込み」について質問をしました。

市バスの乗客との取り決めを定めた「京都市乗合自動車運送約款」には、0.027立法メートルを超え、手回り品は、無料で市バスに持ち込むことができないと記載されています。これは飛行機の機内持ち込みサイズよりも小さく、ほとんどのスーツケースが、実は市バスに持ち込むことができないのです。しかし、市バスには大型手荷物スペースを設置した車両が導入され、多くの市民も大型手荷物の持ち込みができないことをご存知ありません。

それならば、手荷物を有料にした方が良いのではという声もあります。が、運転士1人で手荷物のサイズ計測や、料金徴収を行うことは非現実的であるため、まずは「スーツケースは市バスに持ち込むことができない」ことを徹底的に周知広報し機運を高めることが大切と考えています。そうすることで、手荷物預かりや、空港・駅⇄ホテル間の手荷物配送サービスなど、手ぶら観光の推進に繋げることができるのではないのでしょうか。引き続き「市民生活と調和した持続可能な観光」を実現するため、様々な提言をしていきます。



森田 守 予算特別副委員長
(自民党 右京区)

令和5年度予算 「収支均衡」を達成

誤解 京都市は決して財政破綻しない

京都市は令和5年度予算で、収支不均衡を完全に解消し、将来の借金返済のために積み立てている、公債償還基金の計画外の取り崩しなどの特別の財源対策もゼロとし、財政難克服宣言を行いました。

それにも関わらず、いまだに、「京都市は財政破綻するのではないか」と言われ続けるのはなぜでしょうか？

令和2年12月に、門川市長が「このままいけば財政再生団体に転落するかもしれない」という発言をされました。その後、報道機関などが「財政難」だけを切り取り、都合よく利用し続けていることが大きな要因です。

「このままいけば」とは「何も手をつけなければ」という意味ですが、実際には京都市は行財政改革計画に着手し、令和3年度からの3年間を、「集中改革期間」と位置付け、歳出の見直しや受益者負担の適正化などの、行財政改革に集中的に取り組みました。その結果、財政難克服宣言を行うまでに至ったのです。

森田守 プロフィール

昭和50年 6月15日生まれ
平成10年 同志社大学法学部法律学科卒業
平成10年 (株)セブン-イレブン・ジャパン
平成16年 二之湯智参議院議員秘書
平成27年 京都市会議員初当選(現在3期目)
令和 3年 自民党京都府連青年局長

家族 妻・娘3人・息子2人・猫4匹
趣味 キャンプ・スキー・マラソン

京都市会議員 森田守 事務所

〒615-0027
京都市右京区西院西三蔵町9-1
Connect西院2F
T&F 075-313-0023
M moritamamoru.kyoto@icloud.com



自民党



Homepage

Facebook

Twitter

Instagram